



校長だより No.7

2025.10.1

令和7年度も半年が過ぎ、今日が折り返しの第1日目です。これまでの保護者、地域の皆様のご協力に感謝いたします。

子どもたちは、新しい学年での自分のペースができて、安定した学校生活を送っています。小学部1年生の子どもたちは、学校という環境に慣れて、自分がやりたいことや好きなことはこれだということを言葉や表情、行動でしっかり表現できるようになってきました。他の学年の子どもたちの成長も微笑ましく、ありがとうやいただきますなどの言葉が言えるようになってきた子、恥ずかしくてなかなか顔を見て名前を呼べなかった時期を経て、最近「校長先生！」と大きな声で言えるようになった子もいます。登校時に車から降りるのに時間がかかっていた子が、ほんの少しの時間で降りられるようになったり、呼びかけに答えて手を小さく振っていた子の手が徐々に大きな動きに変わってきたりなど紙面では書ききれないほどの姿が見られています。

個々のお子さんの成長については、前期個別の指導計画の評価でもお伝えしました。後期もお子さんそれぞれの目標が達成できるよう指導や支援をしていきます。引き続き、ご協力をお願いいたします。



【校外学習は学習の山場】

10月には、小学部低学年は華蔵寺公園、高学年は林間学校、中学部1・3年生はショッピングセンターでの買い物、中学部2年生は電車に乗っての宿泊学習が計画されています。

当日に向けて、生活単元学習の時間などでそれぞれのねらいに沿って学習を積み重ねていきます。例えば、中学生がショッピングセンターに出かける場合、フードコートで昼食を選んで相手に分かるように伝えることができるという目標の子もいれば、支払いを一人でできるという目標の子もいます。それぞれの目標にあった行動ができるように、事前の学習で経験を重ねたり、学習を振り返って、もっと良くしたいという姿を自分で思い描いたりして当日を迎えます。子どもたちが、自分の目標に向かって学習し、社会的自立に向けて自分で選んだり、決めたりできる力を高めます。

コミュニティスクールの取組を生かして、事前学習への協力も得ます。MINOYAこども園さんから、かまどをお借りしました。飯ごうでご飯を炊く体験をします。子どもたちが豊かな体験や経験から学びを深められるよう計画していきます。